

学校連携編

・豊かな学びの環境に！

- 小学校から中学校を主に、様々な出来事にどのような対応していけばよいかを示しています。
- 子ども自らの関わり方や、親同士の関わり方を知ることで、みんなで学び合える心を育てていきましょう。豊かなコミュニケーションは深い学びを支えます。



キララン清里「冬休みちびっ子リーダー研修会」

家族みんなが分かっていると・・・

子どもの連絡先



子どもの名前	連絡先（幼稚園・保育所・学校など） 担任名	電話番号

習い事などの連絡先



子どもの名前	習い事先	電話番号



※ 少年団は、地域連携編の方にあります。

生まれてから思春期までの

子どもの接し方パート2（小・中学生期）

- この段階も、すべてのお子さんに通じるものではありませんが、一応の目安となるものです。もし気のつくことがあれば、早めに身近な人や担任の先生へ相談しましょう。

年 齢	接 し 方
小学校 低学年	家庭中心の生活から学校中心の生活になります。 1・2年生は入学して学校になじむまでは時間がかかります。優しく見守りながら学校であったことをしっかり聞いてください。親の手助けは必要ですが、少しずつ自分のことができるように応援してください。
小学校 中学年	ギャングエイジといわれ、集団で遊ぶ時期です。 3・4年生は中間反抗期といって、しきりに言い返す、口答えをする時期です。そんなときは軽く受け流す余裕を持ちたいです。「やれ」と命令されればイヤになるので、むしろお願いしてみてください。
小学校 高学年	仲間との繋がりができ、グループで行動する時期です。 5・6年生は心と身体がアンバランスな時期であり、反抗もさらにダイナミックになります。 この時期は自分だけの世界を持ち始め、自分のことに干渉されることをいやがります。子どもを信頼して大きく受け止めることで解決する場合も随分あります。
中学生	この時期は、成績・異性・将来等が何かと気になる時期です。感情の起伏が激しくなり、気分の浮き沈みも激しい不安定な時期です。 母親は子どもの心の居場所になれる大きな存在であるとともに、父親の関わり方もすごく大切です。 思春期は不機嫌で無愛想なものです。そのことを理解した上で接してあげましょう。

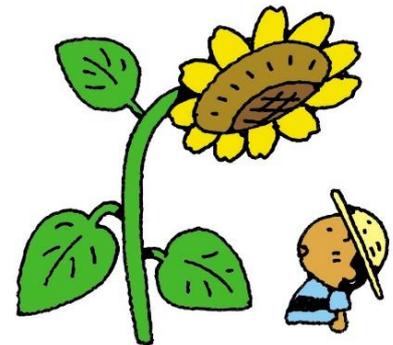




子育ては、楽しいけれど…！

**不安がいっぱい！心配もいっぱい！
悩みを相談できる仲間を作りましょう！**

- 学校、学級、PTA活動に参加しよう！
(話題が共通しています)
- 子育ての先輩に学ぼう…！
(自分の親や祖父母、職場の先輩など)
- 趣味仲間に相談しよう！
(〇〇教室、〇〇サークル)
- 母子学級などに参加してみよう！
(18 ページに…)
- 専門家に相談しよう！
(30 ページに…)



**仲間が増えれば、子育ても人生も、
豊かになりますよ！気軽にご相談を！**

◆どんな悩みが？

- 子どもの友人関係が心配・・・！
- 子どもが学校に行きたがらない・・・！
- 子どもが家で勉強するようになってほしい・・・！
- 子どもに親の言うことを聞いてほしい・・・！
- 子どもがパソコンやスマホを欲しがるので・・・！
- 子どものコミュニケーション力をつけたいのですが・・・！



まずは、仲間や学校に相談しましょう。そして、悩みを共有し合い、一緒に子どもを育みましょう。

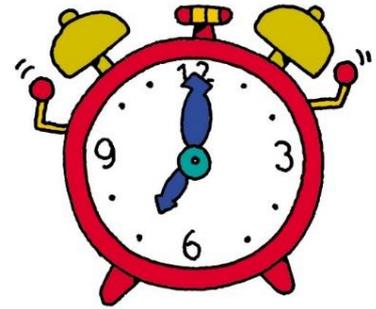


子どもの友人関係が心配・・・！

解決方法を一緒に考えよう！

子どもの話をじっくり聞こう！

- 子どもの悩みを共有しよう！
(一番の理解者になってあげよう)
- 学校に相談しよう！
(子どもを支援する第一歩は、相談から始まります)
- 町の相談機関に相談しよう！
(30 ページに…)



人付き合いは、生きる力の基盤です！

子どもが安心できることが一番！

子どもの気持ちに共感し、子どもが考え行動できるよう見守り続けましょう。

◆解決するには？

- 生活リズムが乱れている→決まった時間に食べる、寝ることから始めてみましょう。
- いじめられている→命を守ることが優先です。じっくり本人から話を聞いて学校に相談しましょう。ケースによっては、第三者に相談しましょう。
- 問題行動をおこしてしまった→早めの対応が大切です。出来事の経過を冷静に理解し、その上で学校や専門機関に相談しましょう。



子どものいつもと違う表情や言動の変化に早く気づくことが大切です。



学校に行きたがらない のですが…！

温かく見守り無理に登校させない！ 家庭を安心できる居場所に！

- 子どもの気持ちに寄り添いましょう！
(一番の味方になってあげよう)



- 学校に相談しよう！
(親が伝える事も大切です。批判するのではなく、具体的に
どんなことなのか、どうしたいのかを相談しましょう)
- 町の相談機関に相談しよう！
(30 ページに…)

あせらず子どもを信頼しましょう！

普段通りの生活を保ち、家族の一員として、
子どもに応じた家庭での役割を担わせましょう。

◆解決するには？

- なんとなく不安だから→ 子どもが話をしようとする時には手を止めてじっくり聞いてあげましょう。
 - 体の調子がよくないから→ 子どもの様子を見て、場合によっては病院へ行くことを促すのも一つの方法です。
 - 朝、一人でおきられないから→ 子どもと相談して決めましょう。基本的には子ども自身が決めるということを大切にしましょう。
 - 勉強がわからないから
 - 宿題がおおいから
 - 部活で困ったことがあるから
- } 子どもの話を聞き、子どもの困り感を把握し、家庭で出来る事、学校に相談することを判断し、進めましょう。

☀️ 将来的に子どもが自立できることが目標です。大切なのは、「叱る」代わりに「ほめる」ことで自信を持たせる（自尊心）ことです。



家庭学習をする時間が少ないと思うのですが…？

勉強しなさい〜い！という前に生活時間を見直してみよう！

○小学生なら・・・そばに付き添う

○中学生なら・・・そっと見守る



- ・リズムある生活をさせよう！
(学習時間を位置づける)
- ・家庭の勉強ルールを決めさせよう！
(時間を決めて集中させよう)
- ・学校に相談しよう！
(家庭学習の内容ややり方等)



子どもの良さや可能性を引き出そう！

時にはやさしく・時には厳しく・時には見守りながら、ともに成長を喜びましょう！

◆家庭学習の時間のめどは？

- 学年×10分です(3年生なら30分)。
- 学校から出されている「家庭学習のしおり」を参考にしましょう。

◆どんな内容をすればいいの？

- 宿題があれば、まず取り組みましょう。
- 今日学習したところの復習をしましょう。



子どもが学習する時は、集中できる環境作りに心掛けましょう。



親の言うことを聞かないの
ですが…？

子どもの言い分を聞いてみよう！
言うことを聞かせる前に、子どもとの
時間を大切に！

- 親の姿(行動)で示そう！
(家族の共同体験を増やそう)
- 親の思いを伝えよう！
(本気でほめて！本気でしかる！)
- 子どもを信じよう！
(任せることも大切です)



結果はすぐには出ません！じっくり見守ろう！
子どもの反発＝成長のあかしです。
親として自信ある行動は、子どもの心に
ひびきます！

◆反抗期の対応法は？

- 反抗期は、親と子の別れ、自立のための儀式です。『さあ、どちらからでもかかってこい！』喜怒哀楽を思う存分、分かち合いましょう。
- 親は、心のゆとりを持って！ 安定感が子育てに何より大切です。
- 反抗期は大波小波のサーフィンです。次はどんな波かと楽しみに待ち受けましょう。



子どもの気持ちを尊重しつつも、親の意見は伝える。子どもの成長を信頼して、自立を応援しましょう。



パソコンやスマホを ほしがりますが…？

家庭でルールづくりを！

子どもの意見を聞き、よく話し合って 納得の上で決定！

- 利用時間を決めよう！
(学習時間を確保しよう。家族との会話の時間を大切にしよう。目を休ませることも重要です)
- SNSやネットの世界は危険もあります。
使い方に責任をもたせよう！
(フィリタリングの設定は、親の責任です)
- 親に見せられない、知らせられない
使い方はさせない！
(子ども任せにせず、親が最後まで関わりましょう)



不適切な書き込みが社会問題に！ みんなで賢い使い方を身につけよう！

◆トラブルへの対処は？

- 書き込みによるトラブル等がいじめに発展したり、写真・動画等の個人情報広がったりすることにつながります。
トラブルが発生したら警察に相談をしましょう。
- 研究によるとネットへの依存度が高くなると、感情のコントロールがうまくできなくなる、怒りっぽくなるなどの症状が出てくるようです。
- 暗い部屋で小さな画面を見続ける事で、睡眠障害や視力低下の危険があるようです。



親は、子どもがスマホやネット以外に夢中になれるものを見つける手助けをしましょう。



人とコミュニケーションできる 力をつけてほしい…？

子どもの話をきちんと聞こう！

コミュニケーションは、人と人とをつなぐ
大切な力！

- 対話の基本は、相手の話を最後まで聞くこと！
(気持ちのよい聞き方ヒント～「うめのかさ」
㊦なずき ㊧をみて ㊨からだをむけ ㊩いごまできく)
(相手の気持ちを知るヒント～「しかのこま」
㊪ぐさ ㊫おの表情 ㊬とばの様子 ㊭わりの状況)
- 話し方は、人それぞれ。子どもの個性で！
- 話し方の基本を身に付けさせよう！
(いつ・どこで・だれが・なにを・どうした)
- 子どもをたくさんハグ（抱きしめる）しよう！

豊かな対話力(コミュニケーション力)

- 相手の思いを受け止める
- 自分の思いを伝える

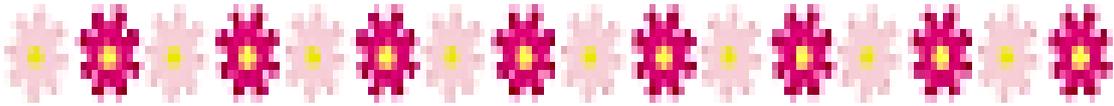
◆どんな時に？

- ご飯を食べながら・・・
- 家のお手伝いをしながら・・・
- 出かけた時の車の中で・・・
- 絵本を読みながら・・・
- 一緒に遊びながら・・・
- お風呂に入りながら・・・





子育ての悩みは、こちらへ…！



◎遠軽町教育相談

- ・月曜日～金曜日 TEL42-4554 (教育委員会内)
- ・火曜日 TEL49-9616 (遠軽コミュニティセンター内)
- TEL42-9500 (教育相談専用電話)

〈受付〉午前9時～午後5時

◎遠軽町不登校児童生徒教育支援室

- ・火曜日～金曜日 TEL49-9616 (遠軽コミュニティセンター内)

〈受付〉午後1時～午後5時

◎子ども家庭支援センターオホーツク

- ・年中無休 TEL45-3211 (北光学園内)

〈受付〉24時間対応

◎オホーツク教育局電話相談

- ・月曜日～金曜日 TEL0152-44-7262

〈受付〉午前8時45分～午後5時30分

◎北海道立教育研究所・相談電話(こども専用フリーダイヤル)

- ・月曜日～金曜日 TEL0120-3882-86

〈受付〉午前10時～午後5時

- ・毎日 TEL0120-3882-56

〈受付〉24時間

- ・メール doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp



◎北海道立特別支援教育センター(教育相談専用)

- ・月曜日～金曜日 TEL011-612-5030

〈受付〉午前9時～午後5時

- ・メール tokucensoudan@hokkaido-c.ed.jp



◎北海道北見児童相談所

- ・月曜日～金曜日 TEL0157-24-3498

〈受付〉午前8時45分～午後5時30分

